

日米政府への緊急抗議をお願いします。

みなさん、日米両国政府に抗議の電報・FAX・はがきを送ってください。沖縄の人々と連帯して、都市型戦闘訓練施設での実弾射撃訓練中止と基地の撤去を実現しましょう。抗議の文面は、以下を参照してください。また送り先は右記の通りです。

抗議文の例です。参考にしてください

都市型戦闘訓練施設の訓練中止と基地撤去を求めます

沖縄県金武町キャンプ・ハンセン内の都市型戦闘訓練施設で、米軍が強行した実弾射撃訓練に対して、強く抗議します。民家から300mしか離れていない場所での実弾射撃訓練実施は、許されることではありません。

キャンプ・ハンセンでは、過去20回以上の流れ弾事故が起きています。キャンプ・ハンセンの存在が、沖縄の人々の生命を危険にさらしていることを、日米両国政府は真剣に考えるべきです。

金武町では19日、1万人が集まって抗議集会が開かれました。私は沖縄の人々と思いを一つにし、以下の事項を日米両国政府に求めます。

記

1. 都市型戦闘訓練施設での実弾射撃訓練を即座に中止すること。
2. キャンプ・ハンセンを撤去すること。
3. 在沖縄米軍基地の縮小・撤去を推進すること。

以上

抗議先は、以下の通りです

駐日米国大使 J・トーマス・シーファー 様

〒107-8420東京都港区赤坂1-10-5 駐日米国大使館

電話 03-3224-5000

FAX 03-3505-1862

内閣総理大臣 小泉純一郎 様

〒100-0014東京都千代田区永田町2-3-1 総理大臣官邸

電話 03-3581-0101

FAX 03-3581-3883

防衛施設庁 長官 山中昭栄 様

〒162-886東京都新宿区市谷本村町5-1 防衛施設庁

電話 03-3268-3111(大代表)

Eメール info@dfaa.jda.go.jp



キャンプ・ハンセンの第1ゲート前。伊芸区の住民による早朝の抗議行動が、400日以上も続いている。

住宅地から300mで実弾射撃を強行 全国からの抗議で訓練を止めよう！！

7月19日、沖縄県金武町に1万人を越える人びとが集まりました。米軍キャンプ・ハンセンの都市型戦闘訓練施設で強行された、実弾射撃訓練に抗議するためです。この集会は超党派で行われ、稲嶺県知事も出席しました。

住民の生命を危険にさらす射撃訓練に、沖縄の人々の怒りは沸きあがっています。県民が一体となった反米軍基地運動の広がりを、米国政府も無視できなくなってきました。

沖縄の人々の連携して、私たちも抗議の声を上げましょう。全国各地から日米両国政府に、訓練の中止と基地の撤去を求める抗議の声を送りましょう。

米国政府は反対論を懸念

運動の広がり懸念、情報を収集 米政府

金武町で米軍都市型戦闘訓練施設での実弾射撃演習に反対して開かれた緊急抗議県民集会について、米務省も在沖米総領事館に確認するなど、情報収集に当たった。米政府関係者の一人は1995年の県民大会のような運動の広がりに懸念を示した。

日本政府の対応注視 米務省副報道官

米務省のエリ副報道官は19日の記者会見で、実弾射撃訓練強行に対する緊急抗議県民集会が開かれたことについて、詳細は承知していないと断った上で「沖縄での米軍の活動は明白に地位協定に基づいている。米政府は、米軍の活動への日本政府の関心に敏感だ」と述べ、日本政府の対応を注視する姿勢を示した。(琉球新報ホームページ 7月20日)

都市型戦闘訓練施設とは何か？

沖縄県には、米陸軍特殊部隊の第1特殊作戦群が駐留しています。この部隊が市街戦訓練を行うために、金武町のキャンプ・ハンセン内レンジ4に建設したものが、都市型戦闘訓練施設です。キャンプ・ハンセン内には、多くの射撃訓練施設があり、実弾が流れ弾となって民家を貫くなどの事故が過去に20件発生し、地域住民の生命を脅かしてきました。

新たに建設された都市型戦闘訓練施設は、沖縄自動車道から200m、民家からは300mしか離れていません。施設内にはビルが建てられ、立てこもった敵を征圧するなどの実戦さながらの訓練も行われます。

「これまで射撃訓練は、民家と反対方向に標的を設置して行われていた。それでも流れ弾が出ていた。都市型戦闘訓練施設では、四方八方に銃口を向けて射撃する。今まで以上に事故の危険性がある」と、地域の住民は反対運動を続けてきました。とりわけ伊芸区民は、キャンプ・ハンセンの第1ゲート前で、400日を越える連日の早朝抗議行動を行ってきました。

こうした反対運動の成果もあり、日米両国政府は今年4月、レンジ4から2キロ奥にあるレンジ16に、日本の予算で新たな都市型戦闘訓練施設を建設することで合意しました。ところが米軍は、新しい施設が完成するまでの暫定使用として、レンジ4で訓練を行うことを日本に通告。7月12日には、訓練を強行したのです。

連絡先

制作 平和フォーラム 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 総評会館1階